

松戸から! 大軍拡・大增税に断固反対 憲法・平和・暮らしを守る政治を!

日本共産党松戸市議団

2022年12月
議会報告



今議会も質問時間25分に短縮されたままでしたが、日本共産党市議団は全員が議会質問に立ち、市議選の中で寄せられた多くの要望や掲げた公約の実現に向けた提案をしました。

市議団は、学校給食費の第3子以降無償化・第2子半額補助の予算を含む補正予算には賛成し、市議会議員の議員報酬を値上げする条例の一部改正では、日本共産党を含む15名の議員が反対しました。また、東松戸病院・梨香苑の跡地問題の質疑では、跡地売却は「決定ではない」ことが明確になりました。

岸田政権が目指す大軍拡路線は、平和・くらしを壊し、国民の命を奪います。きたる県議選で、平和・いのち・くらしを守る政治を実現していきましょう。

放課後児童クラブ支援員・補助員の処遇改善を!



総務財務常任委員
うつの史行

市はこれまで国の処遇改善補助金を使ってきませんでした。5年にわたる提案により補助金活用が昨年ついに実現、約1億6000万円もの補助金が見込まれると質問で明らかになりました。「全額を使えば1人あたり年間30万円も処遇改善できる」という指摘に市は「物価高や最低賃金増を考慮して改善に取り組む」と答弁しました。

その他の質問

- 東松戸病院・梨香苑の存続を
- タクシー代補助制度を
- 21世紀の森と広場の改善を
- 市のインボイス対応について

高齢者の補聴器購入費補助を



健康福祉常任委員
山口正子

全国の自治体で補聴器購入費補助が増え、船橋市と印西市が2万円、浦安市が3万5千円、鎌ヶ谷市がこの12月市議会で2万円補助を決定しました。しかし市は「認知症の予防のためにも聞こえを良くすることは大事だが補助は困難」と答弁。高齢者の健康寿命をのばすためにも、市に対して補聴器利用のさらなる実態調査を求め、補聴器購入費補助の実現をめざします。

その他の質問

- 第8波の新型コロナウイルス感染状況と予防策について

一転、国有地取得は「市役所利用」認める。



建設経済常任委員
ミール計恵

市は一昨年12月に「新拠点ゾーンへの市役所の移転はゼロベース」と答弁してから、議会の合意も市民への説明もないまま一転して「市役所移転が前提の国有地取得を進める」と答弁しました。民主主義のプロセスを無視し、市役所移転という大事な事業が進められていく異常な事態に、原則に立ち返り十分な議論と適正な手続きをと求めていきます。

その他の質問

- 学校校舎の老朽化の対策について
- 給付型奨学金の創設について
- 移動投票所など投票率向上の対策について

教職員の未配置深刻! 子どもの学習権の保障を



教育環境常任委員
嶋村新一

増え続ける教職員未配置問題について質問しました。市教委の答弁では「12月1日時点で68名」と4月より30名増加しています。対策として、臨時教職員の賃金・処遇の改善に県へ強く求めるとともに、授業が受け持てる市費教員の雇用と小学校での部活動廃止を求めました。持ち授業数を減らす対策等をとらなければ、療養休暇者、退職者がますます増えます。

その他の質問

- 公契約条例の制定を
- 小金城趾駅にエレベーター設置を

小中学校給食の無償化、ついに一歩前進!

市議選の公約だった「学校給食の無償化」が一歩前進します。県の「第3子への補助」に上乗せするかたちで、市は「第2子は半額、第3子以降は全額を免除」します。これまで市は無償化に極めて消極的で、議会でも「給食無償化に向けた請願」を自民・公明が5度にわたり反対し続けてきました。議会論戦と世論が市政を動かした大きな成果です。「義務教育は無償」という憲法の理念実現に向け「第一子からの完全無償化」に引き続き取り組みます。



要望書と署名を提出(2022年11月)

【要注目】

東松戸病院の「土地売却ありき」の説明に反対意見が続出!

2022年3月市議会で、「東松戸病院・梨香苑を24年3月末で廃止する条例」が市民の意向を十分聞かないまま決定しました。市は東松戸病院・梨香苑廃止後の計画として①民間医療機関の参入を促し②緩和ケア病棟と人間ドックを総合医療センターへ移し③跡地売却の検討する方針を打ち出し進めています。11月の住民説明会では市の「売却ありき」の説明に参加者は「病院廃止も売却も望んでいない」ことを明確に示しました。そのため12月議会では「跡地売却は最終決定ではない」と市は答えざるを得なくなりました。

まつど民報
【議会報告】

2023年1・2月号
日本共産党
松戸市議団

TEL 047(349)1544 FAX 047(349)2293

ご意見・お問い合わせはホームページから

日本共産党松戸市議団

検索

この議会報告は、政務活動費により発行されています



無料法律相談 毎月第3木曜日 ☎要電話予約

マイナンバー
カード作成で

あなたの個人情報、2万円で購入します!?

本当のねらいは「儲けのタネ」と「超監視社会」

超監視社会へのプロセス

Step1 マイナンバーカードの発行 ⇒行政保有の個人情報をひも付けてビッグデータを作成

マイナンバーカードの取得は任意です。しかし政府が健康保険証とカードを一体化する方針を表明したことは事実上のマイナンバーカードの強制です。

(党市議団は「紙の保険証を廃止しマイナンバーカードへの一体化の撤回を求める意見書」を今議会に提出しました)

今後は免許証との一体化も計画されています。さらには口座登録も進め、国は国民のあらゆる情報を一体的に管理しようとしています。

(党市議団は議案48号「マイナンバーカードに紐づけされた口座の情報を市も利用できるようにする条例」に反対しました)

そこまで国がマイナンバーに力を入れるのは何故でしょうか。

Step2 個人情報保護法の改正で「保護」から「利活用」へ ⇒企業へ個人情報を提供⇒AI分析で「儲けのタネ」に

【市が「個人情報保護条例」で独自に定めていた原則】

- 思想・信条・宗教・その他基本的人権を損なう恐れのある個人情報(要配慮個人情報)の保管禁止
- 個人情報は本人から直接収集する原則
- 本人同意のない目的外利用や外部提供の制限
- オンライン結合の禁止(個人情報のネットワーク共有を禁止)
この12月議会、こうした「原則」が一切削除された条例案が提案されました。驚くべき個人情報保護の後退です。

(党市議団は議案47号「市の独自条例を廃止、国の改正個人情報保護法に一本化する条例」に反対しました)

個人情報は「効果的な活用」で「新たな産業の創出」につなげる...これが国のデジタル社会の狙いです。(個人情報保護法第1条「目的」)

Step3 「儲けのタネ」から「超監視社会」へ突き進む自公政権

安倍政権は「Society5.0(超スマート社会)」構想を打ち出し、情報通信技術によって新たなサービスが次々と生み出され、様々な問題を解決するバラ色の未来を描きました。

菅政権でも「デジタル庁」を目玉に、行政手続きのオンライン化、マイナンバーの普及、スーパーシティの実現を打ち出しました。松戸市も「都市計画マスタープラン」でスマートシティ(スーパーシティ)の検討を掲げるなど国と一体です。

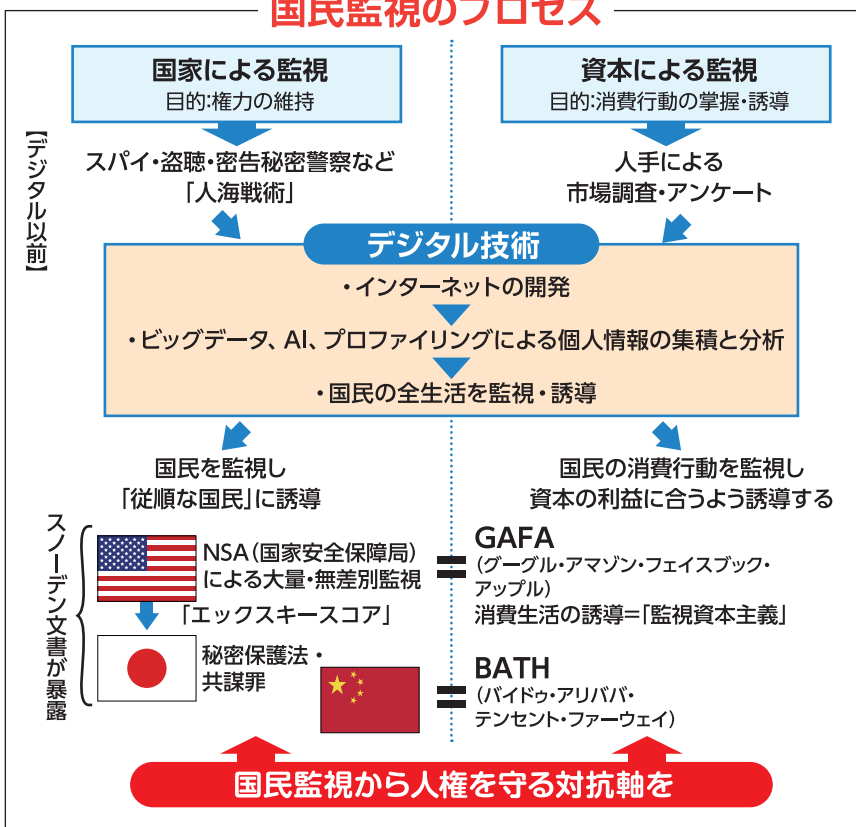
【スーパーシティ構想】ビッグデータやAI(人工知能)などデジタル技術を利用し、オンライン診療や教育、自動運転、顔認証による交通機関利用などのサービスを一括して住民に提供する都市構想。

政府は「まると未来都市」といいますが、これは裏を返せば「まると監視都市」に他なりません。

中国では「何時何分何秒に誰がどこで何をしていた」ことが監視カメラとAI顔解析で「いつでも調べられる」状態です。アメリカはこのシステムが「ウイグルなど少数民族の監視と人権侵害につながる」として「監視技術の輸出規制」などの米中対立が起きています。

松戸では自衛隊が18歳と22歳の住民基本台帳を閲覧、入隊案内を送る問題が起きましたが、マイナンバーにひも付けた健診や口座情報の活用で効率的な「経済的徴兵制」につながるという指摘もあります。

国民監視のプロセス



大門実紀史 菅政権のデジタル戦略と「超監視社会」 経済2020年12月号NO.303

対抗軸は 市議会でも維新市議による個人情報流出が問題に... 個人情報保護の徹底と国民のためのデジタル化議論こそ

11月に初当選した維新市議が、松戸市の青少年相談員(当時)として知りえた市民の個人情報を流出させ、昨年7月の参院選に利用していたという驚きの報道がありました。(NHKほか新聞各紙)

個人情報について「保護の意識」が極めて低い議員・政党がこぞって進めるデジタル社会で、個人情報を守る保障は「憲法のプライバシー権」ですが、政府は憲法改悪も見据えています。

まずは個人情報保護の仕組みを欧米並みに整備し、そのうえで国民生活に寄与するデジタル社会のあり方を議論する、それぞれ国が進めるべき「国民のためのデジタル化」の手順です。

12月議会のおもな議案に対する各会派等の態度

あなたの気持ちにぴったりの会派・議員は?

12月議会にて審議された16の議案、9の意見書等に対して日本共産党は賛成19、反対6

主な審査結果一覧表 2022年12月議会 ○賛成 ×反対 欠:欠席	会派 議員名	日本共産党	政実・社民	立民	公明党										市民クラブ				はじめの会			無所属																								
					宇津野史行	山口正子	ミール計恵	嶋村新一	原裕一	DELIA	工藤鈴子	増田剛	関根シロー	戸張友子	飯笠英一	伊東麻理	岩瀬正幸	織原智明	鈴木伸之	高橋尚	松尾昌子	井出顯子	丹呉満春	芦田裕人	末松裕一	石井能一	深山川信一	市川信一	箕輪剛士	洪谷由一	杉山大介	鈴木大介	大塚善昭	西田善昭	大和善昭	広瀬優斗	鷹野裕	石塚裕	岡本優子	田中睦生	柿沼光利	山中啓之博	大橋典子	中村典子	湯浅文	嶋原舞
47号 松戸市個人情報の保護に関する法律施行条例	議案	可決	××	欠×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
48号 マイナンバーカードに登録した口座の利用を他にも広げるための条例改正	議案	可決	××	欠×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
49号 松戸市情報公開条例の一部を改正する条例	議案	可決	××	欠×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
50号 議員の報酬アップに関する条例	議案	可決	××	欠×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
51号 市長・副市長の報酬アップに関する条例	議案	可決	××	欠×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
15号 紙保険証を廃止しマイナンバーカードへの一本化を中止させる	意見書	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
16号 旧統一協会の解散を求める	意見書	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
19号 選択的夫婦別姓制度の国会での議論を求める	意見書	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23号 市議会の個人情報保護に関する条例制定	意見書	採択	××	欠×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

政実:政策実現フォーラム 立民:立憲民主党 無:無所属 欠:欠席 ※議長のため採決に加わらない。敬称略

● あなたのご意見をお寄せください。電話、FAX、メールのあて先は表面にあります。●